

議 事 概 要

分科会名称	伊勢市地域包括ケア推進協議会 令和7年度 認知症にやさしいまちづくり分科会
開催日時	令和8年2月26日(木) 16:30~17:30
開催場所	伊勢市福祉総合支援センター 会議室1
出席した委員	6名 村瀬分科会長、森川委員 〔臨時委員〕 山川委員、西川委員、田中委員、荒田委員
出席した事務局職員	12名 福祉総合支援センター 5名 各地域包括支援センターの認知症地域支援推進員 6名 第1層生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員) 1名
傍聴者	0名
議題及び協議概要	<p>○説明</p> <p>1. 令和7年度伊勢市の認知症施策の取り組み状況について (資料1、資料1-2)</p> <p>2. 令和8年度認知症施策の取り組みについて(資料2)</p> <p>○事務局の説明後の意見等は以下のとおりである。</p> <p>(委員)</p> <p>認知症キッズサポーターは、かなり増えている認識で良いか。</p> <p>(事務局)</p> <p>増えている。まだ開催していない小学校が8ヶ所あり、認知症地域支援推進員とともに推進していく。また、中学校での開催も同様に考えている。</p> <p>(委員)</p> <p>サポートしている家族の交流は、意見交換や情報交換にもなる。</p> <p>(委員)</p> <p>物忘れが徐々に進んでいる方が「まだ世話になりたくない」と言った。世話にならなくてもよいコミュニティがあればよい。</p> <p>(委員)</p> <p>認知症を認めたくない家族はいる。認知症は誰にでも起こりうると思うが、理解を得られないことがあり難しいと感じる。</p> <p>また、認知症が進むと本人の思いから意思を確認することが難し</p>

<p>議題及び協議概要</p>	<p>くなる。初期の段階から信頼関係を築き、気持ちをしっかり聴けると良い。</p> <p>(委員)</p> <p>広報での特集は、PR になってよかった。</p> <p>スローショッピングや認知症カフェは、参加者が少ないため、PR を考えるとよい。交通手段があれば、なお良い。交通手段があれば、もっと広まる。</p> <p>(委員)</p> <p>各地域包括支援センターの活動は、少しずつ花を開いてきた。うまくいかないことがあっても、それは全然失敗ではなく、それは全部経験値になる。現状だけで止まらずに、新しいことをやってみる。認知症サポーター養成講座など講習を受けたり勉強した人が、この実力をどうやって発揮するのかという声はある。その人たちが頑張れる、活躍する場所を準備していくことが必要。</p> <p>(委員)</p> <p>毎年少しずつ進歩し、様々な活動が増えてきた。このまま継続する。</p> <p>また、若年性認知症に対する取り組みでは、若年性認知症の方の仕事相談も考えてはいかがか。</p> <p>また、認知症になる前に、様々な方との関わりを築ける状況も必要。</p> <p>(委員)</p> <p>高齢者や認知症にやさしい応援団「こども作文コンクール」の作品集を読んだ。こどもは、本当に純粹で、涙が出た。こどもが認知症の勉強をすることで、家族も学ぶ。</p> <p>(事務局)</p> <p>今後、認知症のある方が地域を担う一員として自分らしい生活が実現できるように、新しい認知症観をもとに、認知症サポーターの思いと認知症の方のニーズを繋いでいく取り組みを、地域全体で進めていく。さらに、委員からの意見を次期計画に反映させ取り組みを推進していく。</p> <p>(事務局)</p> <p>会議内容は 3 月 23 日開催の地域包括ケア推進協議会で報告する。</p> <p style="text-align: right;">(以上)</p>
-----------------	---